

特定非営利活動法人ゆめ

多機能型事業所（放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）「ゆめクラブ」

## 事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで



1、家庭と学校、放課後が連携して、豊かな放課後を！

○ 保護者面談を重視し、連携して

保護者のねがい **放課後、休業日の居場所、活動づくり**

**地域でたくましく生活できる力を育てたい**

**それぞれのライフステージに向けた継続した支援を続けていきたい**

○ 一人ひとり児童が、権利の主体として、豊かな放課後を過ごせるように

学校、家庭とともに「第三の発達の間」として

ねらい **自己選択を大事に、利用者が生き生き活動し、**

**ほっとできる居場所づくり**

**たくましく社会生活ができる力を、将来を見す**

**えて育てていきたい**

2、多機能型事業所「ゆめクラブ」の取り組み

### 放課後等デイサービス

○ ゆめクラブの特徴、

・自分で決めて、自分の力で通所する

・仲間と協力し合って、自分たちで、調理・食事、遊び、生活を創る



新型コロナ禍の下、ゆめクラブが大事に取り組んできたことが、なかなかできないという現実はありましたが、少しずついろんな活動を再開し工夫をしてきました

何より、不安を抱えて日々を送っている子どもたち・保護者に寄り添い、安心して通所してもらえるような環境・体制づくりに努力してきました

活動が制約される中でも、子どもたちが生き生きと活動しできるように工夫を重ねて取り組んできました。ゆめクラブでは、仲間と出会い、自分たちで活動を工夫し、思いっきり活動を楽しめるように支援してきました

日々の取り組みをまとめ、今後の実践の標準化・共有化のため「ゆめクラブ支援マニュアル」を作成保護者にも配布しました。保護者会では、日々の活動や子どもたちの様子をお知らせしました

◎ あたりまえの日常、日々の生活を大事に

### 「地域・生活・遊び」

活動が制約される中でも、日々の活動を大事に

地域のまつり

花や野菜のお世話



いろんな遊び、ゲームを覚えたよ

公園で元気に！

自転車、なわとび

サッカー・野球

たこあげ、シャボン玉

モルック大会



いろんなことに挑戦したよ！  
パン作り、うどん作り、手芸教室  
おやつ作り



### ゆめクラブまつり（夏休み）

### 水遊び（夏休み）

プールには行けなかったけど



（自分たちで計画をして、行事を創る）

### 女子会、お出かけ

ゆめカフェでランチ、ショッピング

自転車に乗って

電車に乗って、ひめじへ、神戸へ



### クリスマス会

それぞれの曜日で

ゲームやプレゼントを工夫して



### 卒業生を送る会

新たな世界に向けて

がんばれ！

### 「仲間と学びあう」

・遊び、相手のことを考えて

小さい子の世話をして、一緒に遊ぶ

お兄ちゃんのように頑張りたい

・話のできる気の合う仲間、張り合う仲間

・楽しさの共有、人とつながる力をはぐくむ



誕生日会 みんなでおめでとう

「入試がんばれ！」と、お守りプレゼント



### 「自分づくりに寄り添って」

・自分をみつめ、折り合いをつける力を

・悩んだり、迷ったり、仲間の中で、自分らしく

### 大人プロジェクト

卒業後をめざして、みんなでべんきょう

### 性教育の取り組み（夏休みに実施）



### 保育所等訪問支援事業

・学校等を訪問し、授業や学校での生活を支援していく

・担任、コーディネーター等と懇談し、学校での児童の様子や実態の共通理解を図る

・児童のねらい、支援のあり方等について懇談し、学校・家庭・放課後が連携した取り組みを進める

保育所等訪問支援事業については、今年度は利用実績がありませんでした

授業参観やオープンスクール等の行事も中止になることも多く、学校訪問ができないので、「関係機関連携」として担任の先生方と懇談、連携をとることで対応することになりました

### 3、委託事業の実績

#### ○利用契約・利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放課後契約	34	35	35	36	36	37	39	39	38	38	38	38
利用	31	33	31	35	36	33	36	37	35	37	35	38
利用総数	114	111	116	134	132	127	143	124	145	125	122	150
前年度実績	114	124	120	115	116	123	113	123	125	120	124	139
前年度比	1.00	0.90	0.97	1.17	1.14	1.03	1.27	1.01	1.16	1.04	0.98	1.08
保育所契約	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付費	1040858	997866	1063021	1232578	1283997	1094852	1335803	1120109	1312887	1153010	1113848	1355346
前年実績	1037571	1039772	1102743	1039772	1102743	1063293	970474	1055700	1119714	1115518	1087079	1302667
前年比率	1.00	0.96	0.96	1.19	1.03	1.03	1.38	1.06	1.17	1.03	1.02	1.04

放課後等デイサービス事業については、コロナ禍での利用自粛・事業の縮小の影響から、飛躍的に回復できる状況ではなく、給付費収入も横ばいの傾向は変わりませんでした

少しずつ新しい利用者が増えてきていますが、土曜日の利用が多く、平日の利用はまだ少ないのが現状です。利用者増に向けて、情報発信の取り組みをすすめていく必要があります

報酬改定によって給付費の単価が減っていること、利用人数が減ることが直接的に収入減になってしまうこと、等の制度の問題点が大きく影響しました

#### ○通所支援に取り組んできました

自分の力で移動し、通所・活動できるように、指導員と一緒に電車に乗って支援を行ってきました

電車通所で支援してきた利用者全員が、一人で電車に乗って通所できるようになっています。コロナ自粛で見合わせてきた子どもたちも、少しずつ再開に向けて準備をしています

徒歩での自力通所に向け、小学生の通所支援を行っています  
「頑張ってるよ！」と自信を広げて挑戦している子どもたちの成長に、感動します。ゆめクラブから自宅まで帰れるように支援している子どもたちもあります

#### ○関係機関との連携を大事に進めてきました

就学先の学校との連携（移行連携支援）、利用者の在籍する学校との連携

例年ならば、授業参観、オープンスクールの見学にも参加していましたが、学校行事もほとんど中止になり、できませんでした。支援会議の開催も難しい現状もあったので、担当者や担任の先生方との連絡を密に連携してきました

#### ○学校・学級の臨時休校の場合も、障害のある子どもたちの居場所確保のため休日対応で受け入れを継続してきました

本人が感染したり、家族が感染したりする事態も起こりました。感染が拡大し、学校や学級の臨時休業もあり家庭での生活を余儀なくされることも起こりました、保護者と連絡を取り合いながら、本人支援を大事に取り組んできました

### 4、保護者との連携して

#### ○事業所内相談支援（保護者面談 年2回 6月と2月）

保護者のねがい・要望を把握するとともに、支援について共通理解を図り、支援計画の作成・見直しを行いました

#### ○保護者会 全体研修会 5月（12名の参加）11月（19名参加）、3月（11名参加）

保護者同士が集まり、学び合う機会を大事に取り組んできました。

研修のテーマを決めて、学び合いました 性教育、虐待防止、放課後活動で大事にしたいこと等



ゆめクラブの運営や活動、子どもたちの様子について理解をしていただくとともに、保護者同士の交流を図りました

○保護者会と共同で、「何でも語りあえ、相談できる場を！」と、「おしゃべり会」を継続して開催しました

○「保護者アンケート」を実施し、事業所評価を行い、公開に取り組みました  
10月～12月放課後等デイサービスガイドラインに基づく自己評価の取り組みを行いました  
アンケート結果、要望と改善点をまとめ、保護者等にも公表するとともに、日々の取り組みに生かせるよう協議しました



自己評価 2月28日から 法人ホームページに公開しています

<http://www1.winknet.ne.jp/~zmy58427/new1037>

5 地域でのつながりを大事に、だれでもが共に生き生きと生活できる地域づくりをめざして

○引き続き自粛要請、感染症予防対策もあり、「もちつき大会」等の地域との交流行事は開催できませんでしたが、少しずつ地域の学童クラブとの交流を再開しています。夏休みには、「ゆめクラブまつり」を2年ぶりに開催しました

○開催できていなかった「ゆめクラブ作品展」を、保護者面談の時期と合わせて、ゆめクラブ内でしました。作品展示を通して、活動の様子や個々の子どもたちの姿を保護者知ってもらう機会なればと取り組みました

次年度は、外部の方々にも見ていただける「ゆめクラブ作品展」が実施できないか、会場の確保も含めて検討中です



6、職員が一体となって実践に取り組み、生きがいを持って働けるように

○職員体制 管理者1人（常勤） 児童発達支援管理責任者との兼務  
児童指導員2人（常勤）  
児童指導員4人（非常勤） 事務職員1人（非常勤兼務）

○ 広く研修を進めていきました

月1回、スタッフ全体研修を持ち、利用者の実態把握と支援について共通理解を図る

内容 放課後デイのねらい、児童の実態把握と指導計画、研修会報告  
関係機関連携・学校連携等の報告 その他  
年間研修計画に基づくテーマ研修  
虐待防止に向けてチェックリストによる自己点検、ヒアリング事例報告  
事例検討会

研修会の参加を奨励し、研修の報告を全体に行い、みんなで学び、深めていきました

オンライン研修も積極的に取り入れながら実施してきました

内容 「感染症対策」「虐待防止」「身体拘束の適正化」等

全国放課後連・兵庫放課後ネットに加盟し、総会、研修会に参加して実践交流を深めました

内容 「障害のある子どもを性と生の主人公に」  
「放課後保障と地域生活」放課後活動で大切にしたいこと  
「子どもたちに笑顔を」支援者・保護者へのメッセージ  
「実践報告に学ぶ」等

○ 職員の処遇改善を図りました

- ・職員健康診断を実施し、職員の健康管理をすすめています
- ・福祉・介護職員処遇改善加算・特定処遇改善加算および臨時交付金、福祉・介護職員等ベースアップ加算を活用し、基本給、資格手当、処遇改善手当、特別手当など諸手当の改善を図り、職員の賃金改善を図っています
- ・休暇の計画的取得等、常勤・非常勤の格差をなくし、働きやすい労働環境の改善に努めています

## 7、事業所運営・環境の充実に向けて

○感染症発生等の緊急事態でも、障害のある子どもたちの居場所確保と福祉サービスが継続して提供できるように、業務継続のための計画を作成し、取り組んでいます

○継続して感染症予防対策に取り組みました

○補助金等を活用し、床の改修や遮光スクリーンの設置等、環境改善を図ってきました

○安全安心の事業所運営のため、体制の充実に取り組みました  
 総合防災計画・避難計画、危機対応マニュアル 等の作成  
 年2回の防災訓練週間を設定し、防災教育に取り組むとともに、  
 避難訓練・防災訓練を実施しました



○虐待防止マニュアル、苦情対応マニュアルを作成するとともに、相談体制の充実に努めています

○法人として、ゆめカフェとの共同で虐待防止委員会を設置し、虐待防止に向けた取り組みを進めるとともに、保護者、職員への周知を図ってきました

第3回 11月19日(水) 事業所における取り組みの報告と確認

チェックリストによる自己点検の実施とヒアリング事例の共有の取り組み  
 支援計画の見直しと共有の取り組み、事例をと押して

第4回 4月27日(木) 事業所における取り組みの報告と確認

「身体拘束の適正化」に向けて、身体拘束をしない支援

○WAMNET（ワムネット）に事業者情報を登録公表するとともに、ゆめクラブホームページをリニューアルし、お知らせ、保護者との連絡を掲載し、情報共有できるように取り組んでいます

専任で更新作業事務をしてもらう職員も確保し、保護者とつなぐよりよいツールともなるよう、保護者の意見を聞きながら充実させています

ゆめクラブ ホームページ

<https://yumeclub-himegi.amebaownd.com>



## 8、自主事業 障害児、家族のねがいに応え、必要な事業を広げました

○ 発達相談支援事業  
 様々な相談に対応してきました

○ 卒業後の青年期の仲間たちの支援事業

ねがいをつなぎ、一人ひとりの自立に向け、支援をつないでいける体制づくりを検討したい